

令和4年度における検討方針・課題 (案)

1. 令和4年度における検討課題等 (案)
2. 令和4年度における定期見直し品目
3. 令和4年度における継続検討品目等一覧

令和3年12月15日

あり方検討における2つの論点への対応

1. より高い環境性能に基づく製品・サービスの調達に向けた対応

① 重点戦略品目の一層の拡充

- 重点戦略品目及び2段階の判断の基準の設定に係る検討
 - ➔ 令和4年度の見直し品目及び継続検討品目等から、温室効果ガス排出削減効果を踏まえ重点戦略品目を選定
 - 例えば電気・電子機器、照明等の省エネ関連品目、太陽光発電システム、燃料電池、蓄電池、充電設備等の再エネ・電動化インフラ等
 - ➔ エネルギー使用機器を中心とした2段階の判断の基準の設定について検討
- 温室効果ガスの大幅削減につながる品目、カーボンニュートラルを見据えた品目に係る検討
 - ➔ 実用段階にある脱炭素製品等の調達に向けた課題の抽出及び解決方策等の検討

② モノの調達からサービスの調達へ

- ICT関連の品目等の役務（サービス）への移行（物品との併用）
 - ➔ メンテナンスを含むリース、レンタル契約の割合が高い品目、シェアリングが可能な品目、リペアサービス等について調達実績・調達可能性等を踏まえ検討
- 役務（サービス）として調達する品目の調査等
 - ➔ 国等の機関や地方公共団体において役務（サービス）として調達する品目等の整理・検討

あり方検討における2つの論点への対応

2. 国以外の主体によるグリーン購入の促進に向けた対応

① グリーン購入の裾野の拡大に向けた対応（地方公共団体）

- ➔ グリーン購入導入キットの試行、導入キット普及促進・継続的活動の推進等
 - ➔ グリーン購入未実施の地方公共団体向けの「導入キット」のトライアル及びトライアルのフィードバックを踏まえたバージョンアップ
 - ➔ ホームページ等における公表、都道府県・市町村への紹介及び協力依頼、全国説明会の活用等
- ➔ 国等の調達に限らない対象品目・基準等の可能性の検討等
 - ➔ 地方公共団体の要望の聴取（役務の検討に係る調査も併せて実施）、地域の特性に応じた品目等の採用に向けた検討
 - ➔ プレミアム基準や導入キットの活用方策等

② グリーン購入の裾野の拡大に向けた対応（環境ラベルの活用）

- ➔ 環境物品等の選択容易性の向上
 - ➔ 判断の基準として環境ラベル（エコマーク）と同等の基準である旨の併記（令和2年度において3品目、令和3年度において88品目）
 - ➔ 令和4年度においてはオフィス家具等の見直しを予定。当該分野及び他の品目に係る環境ラベルの活用について検討

カーボン・オフセットされた製品等の取扱い

○ カーボン・オフセットされた製品・サービスの取扱いの検討

- ➡ グリーン購入法におけるカーボン・オフセットされた製品等の取扱いに係る考え方の検討及び整理
 - ➔ 本年度の導入検討に当たっての課題として示された事項等に関する検討
 - 評価すべきライフサイクル、インベントリの算定方法等
 - オフセットに使用可能なクレジットの要件等の検討
 - ➔ 対象品目の特性に応じ、導入に当たっての考え方を整理
- ➡ コピー機等3品目に係る継続検討
 - ➔ 上記の考え方を踏まえコピー機等3品目についてカーボン・オフセットされた製品の判断の基準等の設定に向けた継続検討
- ➡ 対象品目の拡大に向けた検討
 - ➔ カーボン・オフセットされた製品等の対象品目の拡大に向けた検討
 - 業界団体等への依頼、提案募集を含めた情報収集等

プラスチック資源循環に係る検討

① 認定プラスチック使用製品に係る検討

- ▶ プラスチック資源循環促進法に基づく認定プラスチック使用製品の検討
 - 令和4年4月のプラスチック資源循環促進法の施行により、認定プラスチック使用製品の上市が想定
 - 文具類や他の品目に係る環境配慮設計指針を踏まえた検討を実施

② バイオマスプラスチックに係る検討

- ▶ グリーン購入法におけるバイオマスプラスチックの導入に当たっての考え方の検討及び再整理
 - 「環境負荷低減効果が確認されたもの」の根拠となるバイオマスプラスチック（必要に応じ生分解性プラスチック）のLCA実施事例の収集・調査
 - 上記を踏まえた導入に当たっての考え方の再整理

③ マスバランス方式に係る検討

- ▶ バイオマスプラスチック、再生プラスチック等についてマスバランス方式の導入に当たっての課題、利点等の検討及び整理
 - マスバランス方式の適用範囲、第三者認証の要件・クライテリア等の検討
 - エコマーク事務局における検討状況等も踏まえ引き続き検討

2. 令和4年度における定期見直し品目

- 物品・役務については「特定調達品目の見直し方針」に示された考え方に則し、当該品目に係る判断の基準等の変更の必要性を判断の上、適切に見直しを実施
- 令和4年度の定期見直し対象品目は下記の**9分野37品目**

対象品目の市場動向等について業界団体・事業者等への事前調査を実施

分野	品目
オフィス家具等	全品目（10品目）
家電製品	電気便座
照明	LED照明器具、電球形状のランプ（電球形LEDランプ）
自動車等	自動車（令和3年度の見直しを踏まえ検討）、2サイクルエンジン油
消火器	消火器
インテリア・寝装寝具	ベッドフレーム
設備	太陽光発電システム、燃料電池、日射調整フィルム
災害備蓄用品	全品目（10品目）
役務	自動車専用タイヤ更生、加煙試験、タイルカーペット洗浄、自動車整備、輸配送、旅客輸送（自動車）、引越輸送

3. 令和4年度における継続検討品目等一覧

- 令和3年度において判断の基準等の見直しに関する検討を実施した結果、令和4年度も引き続き検討を行うことが適当と判断された品目等は下表のとおり

分野又は品目	継続検討事項等
文具類	<ul style="list-style-type: none">○ 特に金属重量比の高い品目・製品への対応について継続検討○ プラスチック資源循環促進法に基づく認定プラスチック使用製品等への対応について継続検討
コピー機等3品目他	<ul style="list-style-type: none">○ カーボン・オフセットされた製品の取扱いについてコピー機等3品目を対象に検討。併せて対象品目の拡大についても検討
テレビジョン受信機	<ul style="list-style-type: none">○ 暫定的に設定したエネルギー消費効率に係る判断の基準について供給状況等を踏まえ改めて判断の基準を検討
エアコンディショナー等	<ul style="list-style-type: none">○ 家庭用エアコンディショナーは次期トップランナー基準の改定と整合を図る観点から継続検討○ 業務用エアコンディショナーはR32冷媒への転換後に次期トップランナー基準を検討予定。令和4年度以降も継続検討○ ガスヒートポンプ式冷暖房機の期間成績係数に係る判断の基準について供給状況等を踏まえ令和4年度以降も継続検討
エネルギー管理システム及び庁舎管理	<ul style="list-style-type: none">○ 庁舎管理については現在検討を実施している環境配慮契約法に基づく建築物に係る契約に係る検討結果を踏まえた対応を図る○ エネルギー管理システム（BEMS）については庁舎管理と併せて検討を実施することが適当と判断